

令和5年度 金沢総合高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上	公務外非行、交通事故の発生、及び酒酔い、酒気帯び運転を未然に防止し、法令遵守意識についても、公務員・社会人としての自覚を促すよう、その一層の啓発に努める。	改めて、法令遵守の意味やその大切さの理解を深めることができた。
わいせつ・セクハラ行為の防止	生徒の人権に配慮した指導を継続的に行うとともに、生徒・職員に対するセクハラ・わいせつ行為を未然に防止する。	どのような事象がハラスメントとなりうる可能性があるのかについて、具体例を示すことで理解を深めることができ、改めてセクハラ・わいせつ行為があってはならないという意識付けをすることができた。
体罰、不適切な指導の防止	生徒の人権に配慮した指導に努めるとともに、体罰・不適切指導を未然に防止する。	体罰、不適切な指導が絶対にあってはならないことを改めて意識付けられた。
成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止および業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	調査書・通知表等の作成・発行における事故や、入学者選抜に係る事故、また進路関係業務における事故を未然に防止する。	事故の発生により、生徒や受験生の人生を左右してしまう可能性があり慎重に業務を執行しなければならないということを改めて意識付けられた。
個人情報等の管理・情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止）	個人情報の流出や証明書・帳票類の作成時の事故を未然に防止する。	情報の流出は、生徒やその保護者のみならず、県民全体に対して不信感を与えてしまうということを改めて意識付けられた。
会計事務等の適正執行	適正な徴収並びに執行に努める。	特に私費の取扱いについて、適正な処理を実施することの重要さや、各帳票・帳簿の正しい取扱いを改めて確認できた。

○ 令和5年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和6年度に取り組むべき課題 (学校長意見)

定期的に事故防止会議を実施して、全職員に注意喚起を行った。その結果、今年度も大きな事故はなかった。

この結果に慢心せずに職員の様子を管理職だけではなく、職員同士でもチェックして何か気付いたことがあれば、管理職への報告や管理職の聞き取り等の対応を随時行うことで、早期発見、不祥事の未然防止を行うとともに、風通しのよい職員室づくりを努める。